ろうさい病院つうしん

発行所：中部ろうさい病院　〒455-8530 名古屋市港区港明１-10-6　TEL：052-652-5511
http://www.chubuh.johas.go.jp/　FAX：052-653-3533

病床機能特集

整形外科病床機能の変更について

整形外科部長　岡　義春

皆様方には、病診連携を通じて、いつも大変お世話になっております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。本年３月より、当院の６階東病棟を回復期リハビリテーション病棟に変更いたしました。これは、当院の診療機能の特徴や医療需要・制度の変化を勘案して見直したものです。整形外科の全病床数は約90床ですが、そのうち約30床を回復期リハビリテーション病棟内に持つことになりました。手術後の患者さんに退院までの間回復期リハビリテーション病棟で集中的なリハビリテーションを行い、急性期病棟を効率的に回転させることが主たる目的であり、疾患の構成内容が変わることではありません。引き続き、急性期病院の役割として主に手術的治療を行っていきたいと存じます。皆様方には、今までと同様に、病診連携を通じて転院の受け入れをお願いする次第でございます。

当院の整形外科は年間約1,000例の手術を行っております。その内訳は脊椎疾患500例、人工関節を中心に関節疾患200例、骨折を中心に一般整形疾患300例です。最近の３か月間の一般整形の手術症例数は外傷を中心に104例と増加傾向にあります。皆様方からの御紹介や積極的な救急患者の受け入れの成果と考えています。

整形外科の外来受付時間は午前８時15分から午前11時までのため、受付終了時間が他の診療科より30分、短くなっています。大変、御迷惑をおかけいたしますが、手術や検査を効率よく行うための苦渋の選択であることを御理解いただきますようお願いいたします。高齢化社会において、整形外科の需要は今後も増加していくと考えられます。整形外科医師全員が知恵を出し合い、患者さんが早期に社会復帰できるように努力してまいりますので、今後とも御支援をお願い申し上げます。

病床機能特集 リハビリテーション科より

リハビリテーション科部長　田中　宏太佳

日頃は中部ろうさい病院の病診連携に、ご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

中部ろうさい病院の病床は、主に急性期医療を中心とした内科系・外科系の急患や手術目的の入院のために運用されています。リハビリテーション(以下リハ)科は中央診療部門として、急性期および手術前後のベッドサイドから全身調整訓練を行い、呼吸機能・嚥下機能などの改善に関わり、早期離床等を促進し、移動やＡＤＬ能力を高めてゆくことを目的に診療が行われています。

また当院の整形外科は、伝統的に脊椎・脊髄疾患や下肢関節障害を持った受診患者が多いために、脊髄脊椎や下肢人工関節の手術件数が非常に多いことが特徴です。そのような背景から、外傷性脊髄損傷の救急搬送患者が整形外科で治療されることがあり、またリハ目的に中部東海地域の広範囲な医療機関から患者さんが紹介されることがしばしばです。中部ろうさい病院のリハ部療法士や看護師は脊髄障害の診療に熟練しており、また、当院は総合病院であるために多彩な合併症を持っている脊髄損傷患者の包括的な治療成績が良好です。(図：不全対麻痺患者のトレッドミルを使用した歩行訓練)しかし、今までは一般病床だけでの運用であったために十分な入院治療を1回の入院期間で受けていただくことが難しい状況が続いていました。

今回、中部ろうさい病院は回復期リハ病棟を持つことになりました。主に、整形外科手術後や脳卒中急性期治療後等に主治医のもとでもう少しリハ治療を受けたい一部の患者さん、脊髄損傷患者で一貫したリハ治療を一定期間受ける必要がある患者さんに回復期リハ病棟を使用していただくことが当面の目標ですが、他の多くの患者さんは引き続き地域の回復期リハ病棟など従来から連携していただいている医療機関にお世話になることが必要だと思われます。

今後ともご理解とご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

ストレスチェック制度における勤労者メンタルヘルスセンターの役割

心療内科部長　芦原　睦

2015年12月から「労働安全衛生法」の改定により、従業員50人以上の事業場でストレスチェック（以下SC）が行われるようになりました。すでに実施者として活動されていたり、何らかの関りを持たれていたりする先生も多いのではないでしょうか？

SC制度全体の流れや詳細は、厚生労働省のホームページ「こころの耳」に掲載されていますのでぜひご参照ください。SCのポイントは、ストレス要因や職場環境の調査、つまり1次予防に重点が置かれている点です。うつ病などのメンタルヘルス不調者を探すことが目的ではありません。しかし、施行2年目となり、面談を希望する高ストレス者の中にうつ病などのメンタルヘルス不調者が散見されるようになってきました。

高ストレス者には何らかの就業上の措置をとらねばなりません。SCは、ストレス社会の現代において働く人を守るためのとても意義のある制度と考えています。

しかし、最も大きな問題点は、高ストレス者であるのに面接を希望しない従業員の存在です。面接を希望しないと事業者に知られることはありませんが、実施者である先生方の心配だけが残ることとなります。

そんな時に、ぜひ活用していただきたいのが、中部労災病院勤労者メンタルヘルスセンター（以下MHC）です。心療内科は健康保険で診療していますが、MHCは自費となります。

先生方が高ストレス者と判断した従業員には、「中部労災病院MHCで相談したらどうか」などとお勧めいただけたらと思います。MHCは完全予約制で、50分5,400円です。完全予約制のために052-652-5749への予約電話が必要となります。MHCの詳細は次ページに掲載しました。

費用の支払いは、会社命令の場合は、会社負担、個人予約の場合は個人負担が原則です。

処方が必要なったケースは、心療内科における治療に切り替わらせていただいています。

MHCは、この地区で働く人々の心の健康に、貢献したいと考えています。

先生方のご活用をお待ちしております。

中部労災病院
勤労者メンタルヘルスセンター（MHC）のご案内

近年の多様化・複雑化する社会と職場環境の中にあって、ストレスを抱えている勤労者が増加しています。様々なコースを用意しており、このような勤労者の方々の健康チェックをし、ストレス病の予防と心の健康回復をお手伝いします。また、現在休職中の方の職場復帰相談も行います。

メンタルヘルスコース（1回　50分　5,400円）

◆ストレスチェック後の高ストレス者面談コース

心療内科専門医による、ストレスチェック高ストレス者への面談。

◆メンタルヘルスカウンセリングコース

産業カウンセラーによる、メンタルヘルスに関するカウンセリング。

◆勤労者復職支援コース

現在休職中で職場復帰を希望されている方を対象に、日医認定産業医及び産業カウンセラーが職場復帰をサポートし、復職前後のストレスについてのカウンセリング。

◆復職判定（紹介状不要）

◆リラクセーション体験コース

個別指導にて自律訓練法などのリラクセーション体験。

ストレスチェックコース（初回　30分　2,160円）

◆メンタルヘルス活動推進コース　＊産業保健スタッフ対象

衛生管理者、保健師などメンタルヘルスを担当されている方のご相談。

◆ストレスチェック体験・実習

心理テストによるストレス状態の判定と説明。

◆ストレス相談コース

勤労者のメンタルヘルスに関する様々な悩みに対し、

方向性や方針についてのご相談。

＊各コースとも、精神科や心療内科に通院中の方や

カウンセリング実施中の方は担当医の許可が必要です。

ご利用のご案内

当施設は完全予約制です。健康保険はご利用になれません。

月曜～金曜　午後３時～午後５時に

お電話にて予約受付をしております。

〒455-8530　名古屋市港区港明1-10-6

中部労災病院　勤労者メンタルヘルスセンター

TEL052-652-5749（心療内科受付）まで

地域医療連携室だより

３月１日より、回復期リハビリテーション病棟（50床）の運用が始まりました。当病棟は、脳血管疾患または大腿骨頚部骨折などの病気で急性期を脱しても、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さんに対して、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。（この病棟では、対象となる病名と、病気・怪我を発症してから入院するまでの期間が決められています。）

これらの患者さんに対し、チームの各担当スタッフが入院後すぐ、寝たきりにならないよう、日常生活動作への積極的な働きかけで改善を図り、社会復帰を支援します。

また、退院前には在宅生活を支援する関係機関とのカンファレンスを開催し、患者さんやご家族が安心して在宅生活に戻れるよう、地域全体でサポートしていこうと考えておりますので、その折にはご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

医師交代

☆退　職

（平成29年12月31日付け）

酒井　慎一　　循環器内科部長

（平成30年１月31日付け）

柴田　昌志　　脳神経外科医師

（平成30年２月28日付け）

廣崎　早江子　麻酔科医師

☆補　職

（平成30年１月１日付け）

原田　憲　　循環器内科部長

篠田　典宏　　第二循環器内科部長

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- 医療の質の向上と安全管理の徹底
- 生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- 人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- 地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- 災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

☎地域医療連携室　（平日　8：15～19：30）
052−652−5950（TEL）
052−652−5716（FAX）

室　　長：坂口　憲史（副院長）
連携課長：藤田　実
事務担当：峯垣　知広・今関　信夫・
　　金井　久実